

秋冬ネギ現地研修会

9月7日(火)、野菜部会秋田支部による秋冬ネギの現地研修会が、秋田市雄和の(農)平沢ファームの圃場で開かれました。収穫期を前に、病害虫被害を抑えるために効果的な防除体系や出荷規格などを確認しました。

秋田地区営農センターのネギ担当職員は「首部の間隔が伸びて折れないように、注意してほしい。適切な防除作業と圃場管理を心掛けて、高品質なネギを出荷しよう」と生産者に呼び掛けました。

最新型の自走式全自動収穫機「ソフイ」を使った収穫作業の実演も行われ、生産者は操作手順や収穫機の性能を観察しながら、作業の効率化について考えました。



自走式全自動収穫機の実演を見る参加者

スタントマンの実演で中学生に交通安全を啓発

9月13日(月)、自転車交通安全教室が秋田市立御所野学院中学校で開かれました。スタントマンがスマートフォンや傘などを使用しながら通行する「ながら運転」や、一時停止違反による衝突事故などを再現し、1、2年生約200名に交通ルールを守る重要性を呼び掛けました。

参加した生徒は「スタントマンの実演で事故の怖さを実感した。自転車の交通ルールを確認できてよかった」と話しました。

同教室は自転車の利用頻度が高い中学生や高校生を対象に、J A共済連秋田や秋田県警と連携して行っています。当J A管内では今回で4回目で、今後も管内各地の学校で開催します。



交通事故の衝撃に驚く生徒

NEWS & TOPICS

3年産米の検査始まる

管内で令和3年産米の収穫期を迎え、米の検査が始まりました。9月17日(金)に四ツ小屋低温倉庫と椿川低温倉庫で初検査が行われ、22日(水)までに管内全域で開始しました。

検査の開始に先立ち、13日(月)には佐藤広美組合長から農産物検査員に辞令が交付されました。秋田地区営農センターの清水誠検査員が農産物検査員の辞令を、米穀課の谷健検査員が指導的農産物検査員の辞令を代表して受け取り、男鹿地区営農センターの小玉健太検査員が適正かつ確実に検査を行うことを力強く宣誓しました。

農業倉庫の他にコントリーエレベーターやライスセンターなどでも検査が行われており、計28カ所ですべて51人が検査に当たっています。



2



3



4



1

- 1 適正検査の徹底を誓いました
- 2 「あきたこまち」の等級を見定める検査員(四ツ小屋低温倉庫)
- 3 上新城低温倉庫に並んだ3年産米フレコン袋が運び込まれる
- 4 船越低温倉庫